

丹生校区公民館便り2月号

備えは万全ですか？0次～2次の備蓄リストをチェックしてみよう！

出典：くらしの豆知識(大分県消費生活・男女共同参画プラザ)より

0次の備え

***普段から防災ポーチを持ち歩きましょう**

外出中に災害にあった時のことを考えていますか？
外出先で一時的に過ごす可能性を考えて、普段から持ち歩くと安心です。

- 飲食物……………水(500ml)・携帯食(菓子、栄養補助食品、ゼリー飲料など)
 - 装備品……………ホイッスル、*防犯ブザー*ライト
 - 情報関連……………モバイルバッテリー、現金(小銭)、*緊急連絡先*ラジオ
 - 救急・衛生用品……………持病薬・携帯トイレ・ティッシュペーパー・マスクなど
 - 防寒用品……………使い捨てカイロ・アルミ製保湿シート
 - 汎用品……………手ぬぐい(大判ハンカチ・風呂敷)、安全ピン、持ち手付きポリ袋
- *印がついているものは、スマホのアプリで代用できる

1次の備え

***非常持ち出し品を準備しよう**

防災ポーチの他に1～2日分を目安に人数分準備し、生活動線の近くに置くと良いでしょう。

- 飲食物……………水(1.5L)、携帯食(水・調理なしでそのまま食べられるもの)
- 装飾品……………ヘルメット・防災頭巾・軍手・運動靴・ヘッドライト
- 情報関連……………家族の写真・筆記用具・油性ペン・現金・小銭
- 救急・衛生用品……………持病薬・救急用品・歯磨きセット(口腔洗浄液等)・ウェットティッシュ
トイレットペーパー・生理用品・紙おむつ・携帯トイレ(1日5回分)など
- 汎用品……………タオル・ビニールシート・布製ガムテープ・ラップ
- その他……………衣類・下着・レインウェア・地図・通帳・保険証券等のコピー

2次の備え

***在宅避難のための準備をしましょう**

最低3日分、できれば1週間分の備蓄をしましょう
普段使用している食品や衛生用品などは多めに買い置きし、消費したら買い足す日常備蓄の流れを作りましょう。

非常食



飲料水は1日当たり1人3L
食料品は家族の人数×日数分



簡易トイレは1日当たり1人5回分。4人家族の場合3日で60回分



カセットボンベはカセットコンロ
1台につき1日1本を目安に



懐中電灯やLEDランタンなどは1人1個。乾電池も多めに。

ランタン



【丹生校区公民館】 〒870-0315 大分市佐野4223番地
TEL097-593-2192(平日 月水金 9:00~17:00)
e-mail nyu-kouminkan@oct-net.ne.jp

スマートフォン用の、大分県防災アプリや、おおいた洪水ハザードアプリなどもあります。チェックしてみてください。

2月の丹溪大学学習会は、～守りたい！小さな命 つなげたい！いのちの縁～

2月の丹溪大学は「円ブリオ大分」代表の熊谷孝子氏にお腹の赤ちゃんの命を救う活動や、現状などについてお話いただきます。今の自分があるのは命が継がれてきたから。私たちができる事やこれからの「いのち」についてあらためて考える機会です。また、講演の前には、「みんなの森子ども園」の園児によるかわいらしい発表もごさいますのでお楽しみに！あたたかい集会室で、学級生の皆様のご来場をお待ちしております。

開催日時 2月26日(水)
10時から11時30分
開催会場 集会室
当番地区 丹生区
*出席カードを忘れずにお持ちください



親子の交流と丹生校区民児協とのふれあいの場～子育てサロン「すくすく」のご案内～

開催日 2月14日(金)
時間 午前10時から
場所 コミュニティホール
内容 ひなまつりの準備をしよう
参加費 1家族1人100円
*子育て中の親子・家族なら誰でも参加できます。
*子育てサロン「すくすく」は丹生校区民児協が企画・運営しています。



12月はクリスマス会。
サンタさんも登場しました。



1月は大分市子育て支援室の先生にお越しいたいでふれあいあそびと節分を楽しむ準備をしました。



笑顔の華咲く迎春アレンジメント講座



正月用のアレンジメント講座は毎年大人気の講座。佐藤先生の解説を聞き、各自で活けた後は、先生からのアドバイスを受けました。参加者からは「良い年を迎えられる」と感謝の言葉がありました。

心新たに～丹生校区新年祝賀互礼会



1月3日恒例の丹生校区新年祝賀互礼会が開催されました。当日は校区の自治会長をはじめ各種団体の委員が参加。栗林振興会長や来賓による年頭の挨拶の後は和やかな雰囲気の中で幕を閉じました。

～感謝！今年度も多くの方に支えて頂きました～「丹生校区学びの広場・親子農業体験」



今年度最後の「親子農業体験」は、ジャガイモ掘りと門松作りを実施しました。指原治美先生の指導でじゃがいもほりと門松作りをした後は、兒玉佐代子先生の指導で今までサポートいただいた方に手紙を書き、お礼のポン菓子等を袋に詰めました。最後にぜんざいと漬物で、心も体も温まった感謝の一日でした。

